

SUSANOO Dementia Project :

広島県東部医療圏(福山・府中圏域)における認知障害患者の疫学・実態調査

2004年から2023年の間に当院で認知障害の診断を受けた、
もしくは当院へ紹介された患者様へ

研究協力をお願い

当院では、高齢者健康医学センター(素戔鳴プロジェクト)を立ち上げ、福山・新市・府中地区の住民の皆様が健康に暮らせる社会を創造するべく活動しております。その中で地域医療の実態を把握すべく、「広島県東部(福山・府中圏域)における認知障害患者の疫学・実態調査」という研究を行います。この研究は、2004年から2023年の間に福山・府中の二次医療圏域の病院で、認知症や軽度認知障害の診断数および関連疾患などを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：2004年から2024年の間に当院で認知症の診断を受けた患者さん

研究対象患者受診期間：2004年～2024年

研究期間：2023年12月～2025年12月31日

研究責任者：寺岡記念病院 高齢者健康医学センター センター長 森田明夫

寺岡記念病院 脳神経外科 小池 司

(2) 研究の意義、目的について

本研究の意義：

今後超高齢社会を迎えるにあたり、高齢者が健康に過ごせる社会を創ることが急務です。認知症や脳卒中、FRAIL などの中枢神経疾患の発症は、患者のADL およびQOL を下げる大きな要因となる。寺岡記念病院には2004年以降の患者の診断データが蓄積されており、その中で認知障害と診断を受けた患者の診断、年齢、性別、基礎疾患の有無、認知機能などを後方視的に実態を検証する疫学調査を行います。

目的：

- 1) 福山・府中圏域における認知障害診断の実態と、認知障害に関連する、基礎疾患・認知機能の程度などの特徴を解明すること。

2) 地域ごとの特色を把握することにより、医療機関の連携強化を図り地域住民の健康に貢献すること

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2004年から2024年の間に当院で認知症または軽度認知障害の診断を受けた患者さんを対象に、臨床情報およびその変化をもとに、認知障害やフレイルの発症に関与する因子を調査します。

患者情報をカルテより集積し、個人情報を除いた情報として抽出する取得できない情報は、電話にて本人あるいは家族に質問する。この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

情報：診断名、年齢、性別、基礎疾患、既往歴、家族歴、(生年月日：医療機関ごとの重複の有無確認後削除)、重症度、紹介の有無、脳血管疾患、精神疾患の有無、認知機能評価(MMSE, HDS-Rの経時的数値)

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

寺岡記念病院 高齢者健康医学センター 森田明夫、脳神経外科 小池司

〒729-3103 広島県福山市新市町大字新市 37

電話番号：0847-52-3140 (代表)

メールアドレス：info@teraoka-hosp.jp